

■機関誌「道肢連協」で8月のポテトボウルが紹介されました

北海道肢体不自由児者福祉連合協会の機関誌「道肢連協」秋号（10月30日付）で、今年8月25日に札幌市円山競技場で行われた第51回肢体不自由児者チャリティアメリカンフットボールゲーム・ポテトボウル2024が紹介されました。

ポテトボウルは同連合会の協力を得て、道アメフト協会が特別後援、道学生アメフト連盟が主催して実施してきました。新型コロナウイルスの影響などで中断が続いていましたが、5年ぶりの開催となりました。当日は車椅子の5人と家族を招待し、北海道学生選手権の北海道大ー東京農業大戦を観戦してもらいました。

記事では「ポテトボウル2024が5年ぶりに開催されました！」の見出しとともに、試合前に両校監督への花束贈呈と、北海道アメフト協会からの寄付金目録の贈呈を写真付きで紹介。「フットボールの試合を初めて観戦した参加者もあり、部員の方から詳しくルールの説明を受けるとともに、選手たちの様々な動きやぶつかり合いをグラウンドの間近で感じながら、試合を見学していました」と、参加者たちの様子も伝えています。



第51回肢体不自由児者チャリティアメリカンフットボールゲーム

〔ポテトボウル 2024〕が5年ぶりに開催されました！

令和6年8月25日(日) 北海道アメリカンフットボール協会からチャリティゲームとしてのご招待を受け、札幌市円山陸上競技場で試合を観戦しました。

北海道大学VS東京農業大学の試合開始前に、招待された石川佳代子さん、村田葵さんから各チームへの花束贈呈が行われるとともに、遠藤嘉男さんへは寄付目録が授与されました。

フットボールの試合を初めて観戦した参加者もあり、部員の方から、詳しくルールの説明を

受けるとともに、選手達の様々な動きやぶつかり合いをグラウンドの間近で感じながら、試合を見学していました。

正午からの試合開始で、多少暑さが厳しいものとなりましたが、貴重な体験ができ、参加者の皆さんが楽しい時間を過ごすことができました。

北海道アメリカンフットボール協会役員の方々を初め、車椅子の搬送等でご協力していただいた学生ボランティアの皆様には感謝申し上げます。



◎この模様は北海道アメリカンフットボール協会様のHP (NEWS) でも紹介されています！

社会福祉法人 北海道社会福祉事業団「福祉村祭り」見学

当協会の評議員として就任されている、(社福)社会福祉事業団 福祉村総合施設長の高木準人様からのご招待により、福祉村祭りに参加させていただきました。

猛暑が続き、祭り当日の7月20日も30度を超える気温の中、午前中に開会式が始まり、ボランティアで参加していた大学生の「よさこい」が披露され、その後、音楽に合わせて施設入所者や職員の方々が一緒によさこいを踊るなど、楽しい雰囲気の中、祭りが進行されました。

露店もあり、開会式で展開される催し物を眺めながら、そこで購入した飲食物を食べたり、参加者同士(家族を含め)で話をしたり、本当に楽しそうに祭りを楽しんでおりました。

猛暑の中、楽しく祭りに参加することが出来ました。祭りの準備・実行委員のスタッフや事務局の皆様には感謝とお礼を申し上げます。

